

## 自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ分析表	データ表			データグラフ
	内容	項目数	平均	
	「乳児保育」	15	4.67	
	「3歳未満児保育」	32	4.47	
	「3歳以上児保育」	53	4.66	
	「教育保育の配慮事項」	16	4.44	
	「健康・安全」	27	4.63	
	「子育ての支援」	18	4.28	
	「職員の資質向上」	9	4.44	
計	170	4.55		
総合評価	<p>“一人ひとりの子どもが主体として輝く”ことを大切に、個々に応じて受容したり援助したりしながらプロジェクトに取り組む姿に寄り添い、生活面では発達の連続性を捉えながら流れを見直し環境を整えてきた。新型コロナウイルス感染症の影響により地域の方との交流や、保護者の方々と協働できる場面が少なくなってしまう節はあったが、子どもたちと共に感染症に向き合いながらできることを模索、工夫していく過程にも学びがあった一年であった。子どもたちが身の回りの自然や社会環境をより身近に感じられるよう共に目を向け、子どもたちなりに向き合おうとする姿を支えていきたい。</p>			

## 事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
感染症対策の強化	研修や行政からの情報を元に状況を把握、その都度マニュアル改訂を行う。必要に応じ受診の協力を得ることができるよう、発生している感染症をわかりやすくまとめ、掲示していく
地域への見える化・見せる化	森のおうちに子どもの作品を掲示する際に、そのプロセスの見える化を行うことを継続していく(地域向けのドキュメンテーションの作成)
環境問題への配慮	園全体でサステナブルな社会について考えを深め、地域や保護者にも理解を得ながら、子どもたちが主体的に参画できる機会を作っていく